

様式 A-1
(FY2020)

2020 年 11 月 20 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・実施責任者氏名: 兵庫県立明石北高等学校 伊藤 操
2. 講師氏名: Dr. Tung-Cheng HO
3. 講義補助者氏名: 宮下 卓也 先生
4. 実施日時: 2020 年 11 月 20 日 (金) 9 : 40 ~ 11 : 30
5. 参加生徒: 3 年生 32 人、 年 生 人、 年 生 人 (合計 人)
備考: (例: 理数科の生徒) 自然科学科の生徒
6. 講義題目: What We Have Learned from the 2011 Tohoku Tsunami and Unpuzzled 1960 Chile Earthquake
7. 講義概要: 博士の自己紹介、自国の紹介、津波の研究者になった動機、津波のメカニズム、津波到達時刻予想と実際の到達時刻のずれの原因、ずれを補正することによりもとの地震の実際の状況を探る。
8. 講義形式:
 - 1) 講義時間 100 分 質疑応答時間 20 分
 - 2) 講義方法 (例: プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)
Zoom によるオンライン講義、プロジェクターを使用
 - 3) 事前学習
 有 ・ 無 (どちらかに○をしてください。)
使用教材 サマリー、パワーポイント資料
9. その他特筆すべき事項:

生徒は個々にタブレットを持っていたわけではなく、2 台のコンピュータで教室の様子を映し、音を拾えるようにして講義を実施した。生徒の反応も先生から見る事ができ、生徒の声もある程度拾えたので、雰囲気のみながら講義していただけたと思う。質問のある生徒は、教室前方のコンピュータの前まで移動して、発言させるようにしました。専門的な地学や地震、物理の法則などについては、宮下先生に適宜日本語で解説いただいたので、生徒たちの理解はすすんだと思う。